

Japan P A V I L I O N

<開催報告>

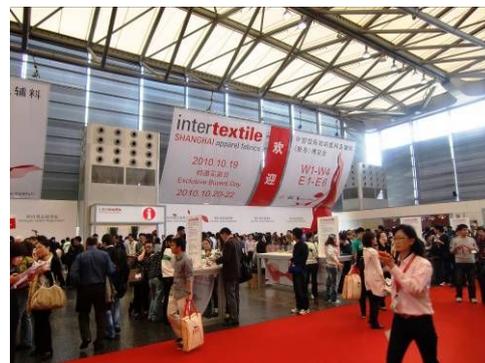
■ 出展概要

展示会名 : Intertextile SHANGHAI apparel fabrics
会期 : 2010年10月19日(火)~22日(金)
会場 : 上海新国際博覧中心(浦東)ホールW2
出展規模 : 『Japan Pavilion』 約92小間
(JFW-JC、メサゴメッセ日本 共催)

出展企業・団体数:28社・団体

出展内容:プロモーションブース(6小間/54㎡)

ビジネスブース(74小間/666㎡+スペース出展168㎡)



□ Intertextile SHANGHAI 2010 apparel fabrics

出展者数は2,472社(前年2,459社)、海外からはイタリア、ドイツ、韓国、日本、台湾、インドネシア、タイの7ヶ国がナショナル・パビリオンを構成し、計20カ国・地域が出展した。特に、海外出展者が昨年の716社から774社に増加。反対に、中国の出展者数は昨年の1,743社から1,698社に減少したが小間数は増加した。来場者数は57,000人(前年54,000人)

■ 『Japan Pavilion』

今年はJFW-JCとメサゴメッセ日本支社の共催として運営した『Japan Pavilion』。

国からの支援が一切無い唯一のナショナル・パビリオンとなったが、出展規模は昨年の約50小間を大幅に上回る92小間(28社・団体)。止まらない円高と縮小し続ける国内の繊維市場、更に今回は反日デモの最中での開催であったが、出展者は自らの生き残りを掛けて、熱心な商談が連日行われた。

今年は全てのブースを統一施工(オリジナル施工の5社を省く)で揃えた事で、視覚面でも“オール・ジャパン体制”をアピール。白を基調に赤を効果的に使用、デザイン面でも日本的な雰囲気を出すため小間毎に社名版機能を持たせたアーチ設け、赤い鳥居が連なるイメージを出した。とくに海外メディアからは好評で「日本的でありながらモダンでスタイリッシュ。今年のパビリオンの中で1番良い」との評価を得た。



□ JFW-JCプロモーションブース

今回は3方向から入れる開放的な造りで、外周素材も和紙とテラマック(トウモロコシ由来の不織布)を天上から吊るし、日本的要素と日本が特に競争力のあるエコ素材を全面に打出した事でメディアからは高い関心が寄せられた。

今回のトレンド素材の展示に関しては、パビリオン参加企業数が多い事から80%以上を上海出展者の素材で構成する事が出来た。これにより単なるプロモーションで終らず、実際の商談に結びつける役割も果たした。また、中国マーケットの中で1番大きな“穴”とされるメンズ・ファッションに対応するため、東京コレクション参加の Beautiful people と Guts Dynamite Cabaret とのコラボ製品を展示。狙い通り来場者は強い関心を示し、ブースに誘引することが出来た。JCブースへの来場者数は昨年より17%の増の3,500人。今回採用の中国人は接客能力高く名刺及びアンケートの回収率は昨年を大幅に上回った。

<JFW-JCブース>

来場者:約3500人(前年3000人)、名刺及びアンケート回収:約2000人(前年750人)



□ トренд・セミナー

インターナショナル館主催のメッセ・フランクフルト香港がプログラムしたセミナーでは、イタリア、イギリス、ドイツ、韓国、中国などパビリオン出展の各国によるトレンド・セミナーが開催された。

日本は2011A/SWのテキスタイル・トレンドをJCTrend委員長の井上佐知子氏が、「東京のファッション」をテーマにデザイナー・コラボレーションの解説と、ギャル系やモリガールなどの“COOL JAPANファッション”を、JCコーディネイターの兼巻豪氏が講演した。



JFW ジャパン・クリエーション事務局

Tel:03-3661-7321 Fax:03-3661-7333

Email: info@japancreation.com <http://www.japancreation.com>